

中越沖地震災害義援金、来月上旬配分

吉川区では637世帯が対象

市災害義援金配分委員会は9月4日、第2回委員会を開催し、中越沖地震の災害義援金の第2次配分計画を決定しました。

それによると、市への寄託金は、住家の一部損壊世帯に一律配分する、対象世帯については、本年の7月16日までに市に被害報告があり、市が被害を確認した世帯とする、県の配分金は、県の算定の考え方にそって配分する、としています。

配分対象及び配分額は、全壊が91万円（要援護世帯は3万円上乗せ）、大規模半壊46万円（同）、半壊23万5000円（同）半壊のうち単身世帯は12万2500円、一部損壊2万円（同）とされています。ここでいう要援護世帯とは、65歳以上のみの世帯、義務教育終了前の子どもを育てている世帯等をいいます。

下表は第2次配分対象世帯数を合併前上越市、13区ごとに区分したものです。被災の現住所と被災した時点での住所が違う世帯もありますので、これまで発表された被害家屋集計表と違っているところがあります。

稲場先の市営住宅、耐震診断は〇

昨年度実施された市営住宅の耐震診断結果が建設企業常任委員会でご発表されました。

そのなかで対象となった吉川区原之町地内の稲場先の住宅については、基準をクリアしている。

私の一般質問は30日午後の予定

一般質問が24日からはじまりました。私は30番目になりました。原油高騰に伴う灯油代補助、医師不足の解消、並行在来線の存続などを求めて質問します。質問の模様はケーブルテレビでもごらんいただけます。

ることが明らかになりました。

吉川体育館などでアスベスト補足分析へ

平成17年度に吹き付け材のアスベスト含有調査を行った公共施設について、補足分析が行われることになりました。これは、従来国内には存在しないとされたトレモライトなど3種類のアスベストが報道などで新たに問題とされたことによる措置です。

総事業費395万円。市内では79施設、125か所で補足分析が行われます。吉川区内では、コミュニティプラザ、吉川中学校、吉川体育館、吉川多目的集会所が対象となっています。

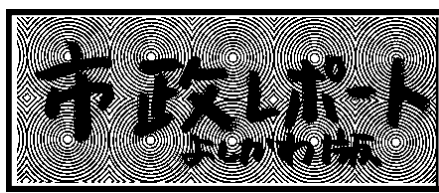
鉄道とバスの接続改善など求めて発言

毎年、バスの乗客が減少し、市の単独補助路線が増え続けています。昨年度は27系統にもなりました。私の所属する総務常任委員会でバス運行対策の強化を求めました。

抜本的な対策が必要ですが、当面の対策の一つとして私は、電車とバスの接続の悪さについて指摘し、改善を求めました。

中越沖地震義援金第2次配分対象世帯

区分	合計						要援護世帯					要援護世帯以外						
	計	全壊	大規模半壊	半壊	半壊(1/2)	一部損壊	計	全壊	大規模半壊	半壊	半壊(1/2)	一部損壊	計	全壊	大規模半壊	半壊	半壊(1/2)	一部損壊
計	2,773	15	1	66	2	2,689	1,334	6		35		1,293	1,439	9	1	31	2	1,396
合併前の上越市	135	1		4		130	63	1		1		61	72			3		69
安塚区	26					26	14					14	12					12
浦川原区	104	1		2		101	56			1		55	48	1		1		46
大島区	38					38	24					24	14					14
牧区	63			2		61	37					37	26			2		24
柿崎区	1,280	10		33	1	1,236	606	4		19		583	674	6		14	1	653
大潟区	50	1		3		46	29	1		1		27	21			2		19
頸城区	159			3		156	54			1		53	105			2		103
吉川区	637	1		14	1	621	317			10		307	320	1		4	1	314
中郷区																		
板倉区	3					3	2					2	1					1
清里区	1					1						1						1
三和区	252	1	1	2		248	120			1		119	132	1	1	1		129
名立区	17					17	8					8	9					9
市外	8			3		5	4			1		3	4			2		2



NO 1364
2008.9.28

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>